

2019 年 2 月 14 日

株式会社 九州フィナンシャルグループ
株式会社 肥 後 銀 行
株式会社 鹿 児 島 銀 行

「サステナビリティ宣言」および「全体構想」の策定について

当社および子会社の肥後銀行と鹿児島銀行は、当社グループならびに地域経済の持続的な発展および社会づくりに資する取り組みの強化を目的に、国連が定めた「持続可能な開発目標（SDGs）※」の趣旨に賛同し、「サステナビリティ宣言」および「全体構想」を策定しましたので、下記のとおりお知らせします。

記

1. サステナビリティ宣言

私たち九州フィナンシャルグループは、国連が定めた持続可能な開発目標であるSDGsの趣旨に賛同し、全役職員が主体的に取り組むことを宣言します。

1. 持続可能な社会づくりへの取り組み

私たちは、環境にやさしい経営の実践を通じ、お客様や地域の皆様お一人おひとりが、将来にわたって幸せや満足を実感できる社会づくりに取り組みます

2. 地域経済発展への取り組み

私たちは、地域総合金融グループの力を最大限に発揮し、お客様・地域の課題解決を支援することで、持続的な地域経済の発展に貢献します

3. 普及・拡大への取り組み

私たちは、お客様や地域の皆様との対話を深め、地域全体が持続可能な社会となるように活動の輪を広げます

2. 全体構想

本宣言を踏まえ、肥後銀行と鹿児島銀行では重要課題を特定し、各行の独自性と地域性を反映した「全体構想」を策定しました（別添参照）。

なお、グループのSDGsへの取り組みの詳細は[ホームページ](#)をご覧ください。

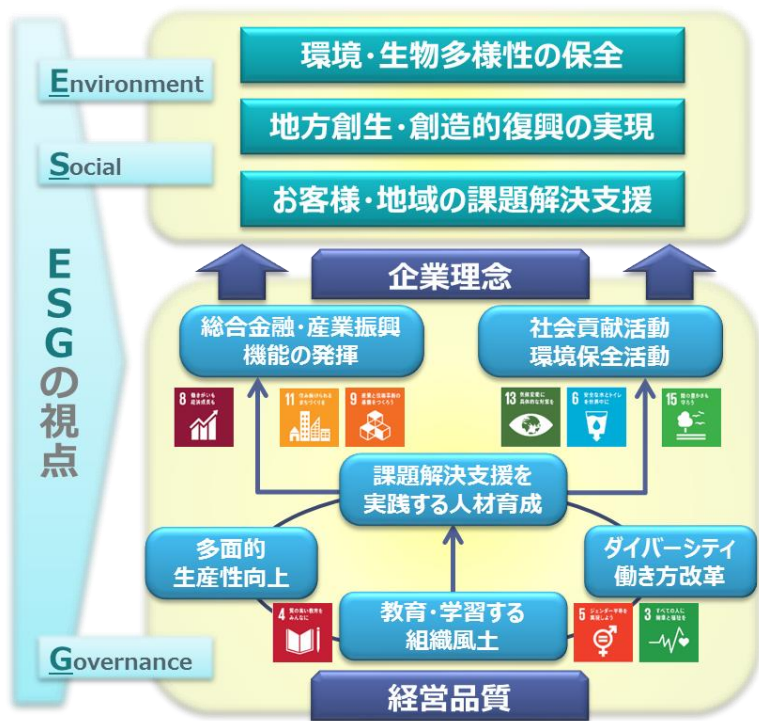
以 上

【本件に関するお問合せ先】

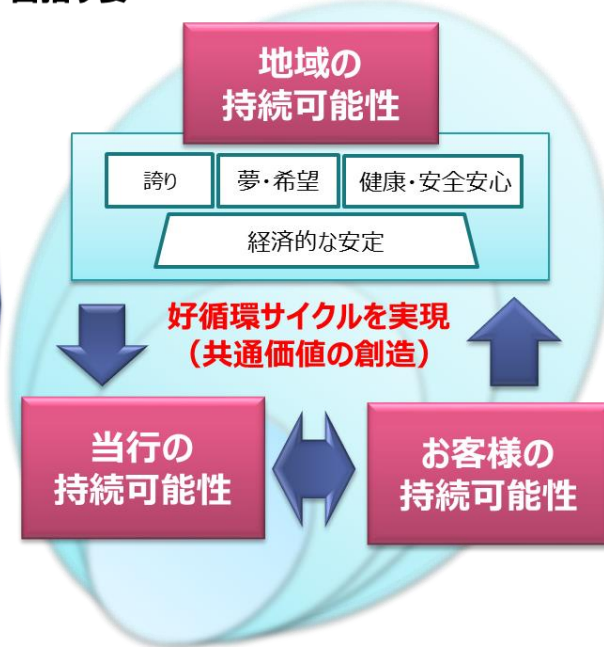
九州フィナンシャルグループ 経営企画部 岡本

TEL：096-326-5588

サステナビリティ全体構想



目指す姿



高い倫理観をもって、真摯に持続可能な環境・社会づくりに取り組みます

重要課題	取り組み例	対応する主なSDGs
環境にやさしい地域づくり	・地下水保全活動としての3本柱 【森林】水源涵養林の育成「阿蘇大観の森」植樹 【水田】水源涵養機能の活用「阿蘇水掛けの棚田」での稲作 【草原】水源涵養機能の保全「阿蘇の草原」維持活動 ・災害等に強い街づくりの推進 ・ESG関連の投融資推進 ・紙資源の削減等CO2削減の取り組み	
全ての人を支える地域の基盤づくり	・地域産業振興・復興支援の取り組み強化 ・地域間格差のない金融サービスの提供 ・FinTech、IT、キャッシュレス時代における公平な金融サービスの提供 ・事業承継支援等を通じた地域活性化支援の実施	
全ての人が活躍する職場・地域づくり	・多様なニーズに応じた金融商品・サービスの提供 ・健康経営の実践及びお客様・地域の健康増進支援 ・女性活躍推進の取り組み強化 ・多様な働き方を推進する制度の充実	
持続可能な環境・社会に貢献する人づくり	・お客様・地域の課題を解決する人材の育成 ・映像を活用した情報伝達と教育 ・金融リテラシー向上に向けた金融教育活動	

★は重点的に取り組むSDGs

サステナビリティ全体構想



目指す姿

持続可能な地域社会の実現

CSV（共通価値の創造）の実現

地域におけるSDGs意識の醸成

重要課題	取り組み例	対応する主なSDGs
環境にやさしい地域づくり	・当行の環境配慮経営の実践および地域における環境意識の醸成 ・地域資源の活用による事業化支援 ・災害等に強い街づくりの推進	
全ての人を支える地域の基盤づくり	・FinTech、IT、キャッシュレス時代に対応した公平な金融サービスの提供 ・事業承継支援等を通じた地域活性化施策の実施 ・地域間医療格差の解消に向けた支援 ・社会的弱者を支援する意識の醸成	
全ての人が活躍する職場・地域づくり	・多様なニーズにお応えする金融商品・サービスの提供 ・当行の健康配慮経営の実践および地域の健康増進支援 ・金融リテラシー向上に向けた教育活動の実施および教育を公平に受ける機会の提供 ・女性活躍推進の強化	
地域に必要とされる組織づくり	・当行の健全経営の継続実践 ・反社会的勢力の排除や社会的不正の撲滅 ・持続可能な社会の実現に向けて地域全体で取り組むための連携、気運の醸成	

※SDGs：「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称。2015年9月の国連サミットで採択された具体的行動指針。国連加盟193か国が2016年～2030年の15年間で達成するために掲げた17のグローバル目標と、それらを達成するための具体的な169のターゲットで構成されている。



[↑リリース文に戻る](#)